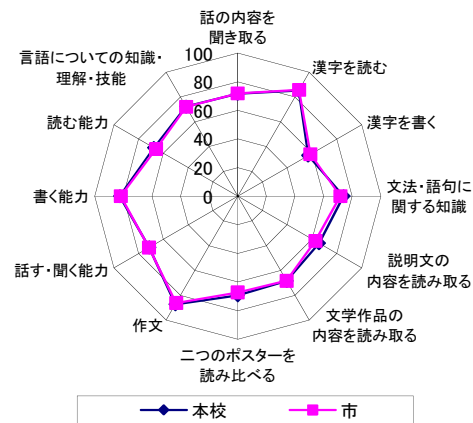


宇都宮市立陽南中学校 第1学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話の内容を聞き取る	71.6	71.9
	漢字を読む	85.3	85.7
	漢字を書く	56.9	58.7
	文法・語句に関する知識	74.0	71.7
	説明文の内容を読み取る	65.7	62.6
	文学作品の内容を読み取る	68.3	68.3
	二つのポスターを読み比べる	69.4	67.2
	作文	87.3	86.2
観点別	話す・聞く能力	71.5	71.7
	書く能力	82.4	81.8
	読む能力	67.6	65.9
	言語についての知識・理解・技能	72.3	72.1



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話の内容を聞き取る	本校の平均正答率は、市の平均を0.3ポイント下回っている。設問別に見ると、聞き手に理解してもらいための話し方の工夫についての聞き取りは市の平均を上回っているが、目的や意図に応じて、自分の考えを的確に話すことができるの聞き取りは市の平均を4ポイント程度下回っている。	・聞き取りテストを今後も継続させ、話の要旨を的確に聞き取る練習をさせていきたい。 ・授業においては、1分間スピーチなどを行い、日常生活の話題について発言、発表の機会を意図的に設けて、実践的な力としての定着を図っていきたい。
漢字	本校の平均正答率は、漢字を読む、漢字を書くの両分野とも市の平均正答率を下回っている。設問別に見ると、第1学年までに学習した漢字の読みについては、平均正答率をほぼ上回っているが、小学校で学習した漢字の書きについての正答率は、問題によっては7ポイント程度下回っている。	・学年配当の漢字を継続的に学習するプリントを作成し、定期的に確認テストを実施し定着を図りたい。特に、同音異字、同訓異字については、文脈に即して用いることができるようにしたい。 ・送り仮名を含めて、楷書体で正しい字を書くことができるよう、漢和辞典や国語辞典等にも親しむ習慣をつけさせたい。
文法・語句に関する知識	本校の平均正答率は、市の平均正答率を2.3ポイント上回っている。設問別に見ると、部首についての理解の問題の正答率は市の平均を下回っているが、文節、単語などの文法事項や故事成語などの正答率は、市の平均を大きく上回っている。	・日常的に使っている言葉について、10種類に分類されることを理解し、正確に用いる習慣をつけさせたい。
説明文の内容を読み取る	本校の平均正答率は、市の平均正答率を3.1ポイント上回っている。設問別に見ても、すべての問題で市の平均を上回り、特に、文章の構成や展開を捉えて、それを整理する問題の正解率は市の平均を5ポイント程度上回っている。	・内容を正確に理解するために、指示語の内容を具体的に読んで読み取り、接続語のはたらきに注意して段落相互の関係を的確につかんだりする力をつけさせたい。 ・言葉のまとまりや全体の構成を意識させるため、様々な形の文章を音読させる場面を積極的に取り入れていきたい。
文学作品の内容を読み取る	本校の平均正答率は、市の平均と同じである。設問別に見ると、登場人物の様子をとらえたり、心情の差異を考えたりする問題の正答率は高いが、登場人物の心情をとらえる問題の正答率は市の平均を下回っている。	・朝の読書の時間ではほとんどの生徒が熱心に本を読んでいるが、文学作品を読んでいる生徒は多くない。授業などを通して、より質の高い文学作品に触れさせ、登場人物の行動や会話などから、場面ごとの心情の変化を的確に読み取る力をつけさせたい。
二つのポスターを読み比べる	本校の平均正答率は、市の平均を2.2ポイント上回っている。設問別に見ても、全ての問題で市の平均を上回っている。特に、ポスターを作る際の工夫についての問題については、市の平均を4ポイント上回っている。	・意見文などの単元を通して、長所や短所を根拠に基づいて発表できる能力を育てさせていきたい。
作文	本校の平均正答率は、市の平均を2.1ポイント上回っている。設問別に見ても、3段落構成で文章を書く、指定された文字数で書くという作文の構成に関する問題の正答率は、市の平均を上回っている。しかし、作文の内容についての問題の正答率については、市の平均を下回っている。	・自分の考えを明確にして、意見や感想を簡潔にまとめる練習を多く取り入れて、「書くこと」そのものへの苦手意識を取り除いていきたい。 ・作文の構成についての問題の正答率は高いが、原稿用紙の使い方を改めて確認し、示された型どおりに書く練習も引き続き取り組ませていきたい。 ・スタンダードダイアリーなどを活用し、具体的に書くということを習慣づけさせたい。